



船舶職員にしかできない 社会貢献を！

博多臨港警察署 地域課 船舶警ら係
平成19年採用 警察行政職員（船長）
波方海上技術短期大学校 卒業

警察行政職員になったきっかけを教えてください！

「地元の海で人の役に立つ仕事をしたい」という思いから、水上警察を目指しました。船舶職員（海技従事者）の募集は毎年ある訳ではありません。私も就職活動時、福岡県警察の船舶職員の募集を心待ちにしておりましたが、願いが叶うことはなく、一般企業の内航船員として就職しました。しかし、どうしても夢を諦めきれず、就職して2年後に行われた警察行政職員の採用試験にチャレンジし、望みを叶える事ができました。「絶対に船舶職員になる」と決意したからこそ今の自分があると思います。

警察行政職員のやりがいは？

船舶職員は船の操船、整備だけでなく、警察官とともに海の安全と治安の維持に貢献することができる、やりがいのある仕事です。

船舶職員は、警察用船舶の運航と保守管理という船務業務及び警察官の職務執行をサポート（支援）して治安維持に当たる警察業務を行います。

警察業務（水上警察業務）の任務は、海に関する110番通報の対応や海上のパトロールを行い、海事犯罪の取締り、密輸・密航の警戒、水難救助等多種多様であり、警察官とともに、幅広い任務を遂行していくところに大きな魅力を感じています。

印象に残っているエピソードを教えてください！

船舶職員の仕事は、「人命」にも大きく関わっています。

そう感じたのは、外国船同士の衝突事故を取り扱った経験からです。当日はみぞれ混じりの雪、海面は荒波で航行するだけでもやっとの状況でした。衝突事故に関する出動要請を受け、荒れた海上を突き進み、現場に到着した頃には、衝突した船の一方が傾き始め一刻を争う状況であり、直ちに救助活動を開始しました。船員に救命胴衣を着用させ、すぐに警察用船舶に移るように指示する等した結果、外国人船員10人を無事救助することができました。救助された方は、凍える寒さと恐怖から震えが止まらず、そっと毛布を掛けると、片言の日本語で何度も「アリガトウ」と感謝の言葉を頂きました。人の役に立ちたいと船舶職員になった夢が叶った瞬間でした。

現在の職場環境について教えてください！

海上の事案に24時間365日対応するため、三交替の体制で出動要請に備えています。

具体的には、朝9時から翌朝9時までの当務、翌日の勤務員に業務の引継ぎをした後勤務がない非

番、翌々日は週休日（休み）又は日勤勤務となり、当務、非番、週休日のローテーション勤務が基本で、3日に1回、当務勤務を行います。勤務計画に沿った活動を行っていますので、休みも計画的に取得することができます。

警察用船舶は、警察官と船舶職員で海上のパトロール等の業務を行っており、上司や同僚がしっかりとフォローをしてくれ、また、分からないことはすぐに聞ける環境であるため、心配はいりません。

私が転職して最も印象に残っているのは、職場環境の充実です。仕事上の相談、育児等の生活相談、福利厚生も充実していることから、全力で職務に邁進できる環境が整えられています。

休日の過ごし方について教えてください！

三交替制勤務のため、家族と過ごす時間をしっかり確保できるところが魅力的です。

私の家庭では、夫婦共働きで子ども2人を養っています。妻が平日勤務ですので、私が休みの日には、子供の送り迎えなどを行っています。また、計画的に年次休暇や特別休暇を取得し、子どもの各種行事に参加しているほか、家族でサイクリングやキャンプなどのアウトドアを楽しみ、子どもの成長を見守ることができます。そのおかげで、質の高い仕事に打ち込むことができます。

一般的に、船員の仕事は特殊で、毎日帰れず、いつ陸上に戻れるか分からないことが多い中、警察の船舶職員なら、計画的な生活設計が立てられると思います。

警察学校での生活はいかがでしたか？

警察官と同様、船舶職員も約1ヶ月間警察学校に入校します。

船の仕事なのになぜと思うかもしれませんが、同期生となる警察行政職員と寝食を共にして、「きずな」を深めながら警察職員として必要な知識を学んでいきます。

私が入校して感じたことは、「敵は自分自身だということ」です。甘えた考えを捨て、自分の弱さと戦う場所だと思いました。同期生は、苦労をともにし、一緒に乗り越えたからこそ、今でも信頼できる「仲間」となっています。

警察行政職員を目指す方にメッセージをお願いします！

船員の業界では、水上警察として認識されておりますが、具体的にどんな仕事をするのか分からない部分が多々あると思いますが、至ってシンプルです。

警察用船舶を運行し、国民のために働くだけです。他に考えることはありません。

船員の資格を持ち、地元で人の役に立てる仕事をお探しなら、私たちと一緒に働きませんか。あなたが全力で働ける環境が整っています。